



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 平成27年12月14日 第746号「週刊五十嵐レポート」

## 十数年ぶりの不良債権

帝国データバンクによると、2015年11月の東京都企業倒産件数は138件となり、前年同月比で8.7%上回り、2ヶ月連続での前年同月比増加となったと発表されています。

町コン経営塾小岩校でもある会社(S社)の倒産が話題になりました。「S社は、1971年(昭和46年)5月に設立した鉄鋼卸売業者。首都圏の鋼材商社向けを主体に、部品メーカーや建設業者などのユーザー向けの直接販売も行ない、2010年3月期には年商21億7800万円をあげていた。しかし、不良債権の散発により財務内容は脆弱で財務超過が続き、2015年3月期の年商は18億3900万円に落ち込んでいた。業況は改善せず金融支援も限界に達していた。11月27日東京地裁へ自己破産を申請した」(帝国データバンクより)

営業戦略DVDテキストに、「受注型事業や下請の事業で、社長に営業力がないと、特定企業に100%依存したり、50%以上を依存することになってしまう。何らかの事情で仕事が停止すると、すぐ倒産することになってしまう」と書かれており、1社に対する依存度は15%以下にすることが望ましい。

町コン経営塾小岩校に参加されている受講者で十数年ぶりに不良債権が発生しました。S社に対する依存度は1%以下だったこともあり、影響は軽微でした。受講者曰く、「9月の入金が1日遅れた。今までだったら遅れたとこがなかった。これからは教訓として債権管理を徹底することに」。

「信用調査と引っ掛かり防止」DVDテキストでは、「事前に販売先の経営情報を集め、内容が悪くなったら早めに取引を中止する、逃げ勝ち第1主義で運営するのが1番経済的になる。販売先の情報収集力57.1% 判断能力28.6% 実行力14.3%」と書かれています。私もリース会社にいたときは、支払いが遅れたら直ぐに会社を訪問し、現場を見て状況を把握していました。ちょっとした出来事が変調の兆しになります。変だと気づくことと素早く行動することが不良債権を未然に防ぐことになります。

ちょっと  
気になる出来事

最近、「フィンテック」や「IOT」、「AI(人工知能)」等の情報が眼に入ってくるようになりました。

ユーザーサイドとしてはより便利になっていくものと思われれます。

「人工知能」や「ロボット」がより発展していくと、従来人間が行っていたものがロボットや機械が行なうことになってくるでしょう。

想像できるものは、「税務申告書」の作成。小さな会社なども税理士が行なう必要がなくなるのでは。税務等の情報がビックデータとなり分析や法人・個人に対応することが人工知能では可能になります。

アナリストやファンドマネージャー、天気予報等もロボットや機械に置き換わるのでは。

下手なコンサルタントもいなくなる。

すごい時代がやって来ます。



一口メモ  
知識

## 卸売事業によるマーケティング意思決定その3

### 価格の決定

卸売業者は、仕入コストにたとえば20%といった値入率を設定する。経費はグロス・マージンの17%であり純利益は3%となる。

食品雑貨卸の平均的な純利益率は2%を下回る。卸売業者は、新しい価格設定に挑んでいる。彼らは重要な新しい顧客を獲得するために、いくつかの製品ラインでマージンをさらに切り詰めている。彼らは供給業者の売上を増加させることができれば、特別な価格を供給業者に要求するだろう。

### プロモーションの決定

多くの卸売業者はプロモーションを重要と思っていない。彼らの業界広告や販売促進、パブリシティ、人的販売はバラバラに無計画に行なわれている。卸売業者は全体的なプロモーション戦略を開発する必要があり、仕入先のプロモーション資材やプログラムを大いに活用していく必要がある。

フィリップ・コトラー、ゲイリー・アームストロング「新版 マーケティング原理」より

「町コン経営塾」小岩校 毎週日曜日 午前10時～12時

「町コン経営塾」小岩校 土日集中講座 HP参照

「町コン経営塾」銀座校、武蔵村山校開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

